

# 十方山

2018.10.15 (月) 0・F

△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△

## ○行程

- ・ 十方山登山口(7:50)発→瀬戸滝の分岐→水場(9:05)→岩場(9:25)→遭難碑(11:40)→十方山1319m(11:55)→遭難碑→岩場→水場→瀬戸滝の分岐→十方山登山口(16:35)着 所要時間 8:25

○ 早朝、テントを片付けて、出発の準備をしていると、道路工事の車両が来た。台風の影響による吉和川沿いの修復らしい。駐車場の傍にあるトイレの右側の登山道を進む。急尾根を巻いて、瀬戸滝の分岐に出る。分岐を右にとり、針葉樹林から、ブナ・ミズナラの広葉樹林の中を進み、更に、尾根を左に行くと、瀬戸滝からの登山口と出会う。小休止し、一息つく。

水場を渡り、谷を眼下に登って行くと、岩場が現れた。イカガミが群落している。新旧の遭難碑があるピークを過ぎて、アヒ等アヒの灌木樹林尾根を登りきると、急に視界が良くなる。広い草原を進むと、前方に十方山の標識が見えてくる。今日は、風も無く穏やかな天気なので、ゆっくり展望を楽しみながら、山頂に到着する。広い山頂からは、周囲の山が見渡せ、日本海や瀬戸内海も綺麗に見える。

下りは、往路を行く。瀬戸滝の分岐から、瀬戸滝見物の予定でしたが、時間的に無理なので、途中から引き返し、ようやく登山口に到着する。

今日は、十方山の全行程を終了、楽しい一日でした。 又、山歩きしましょう！  
十方山は、吉和川から立ち上がる山塊で、沢登りとしても、古くから知られている。道幅も広く、手入れが行き届いていました。学校の登山にもよく使われているようです。  
(参加者 4名)



登山口



炭焼き竈跡



ソヨゴの実



登り坂



岩場手前の分岐



ブナ林の道



新しい遭難碑



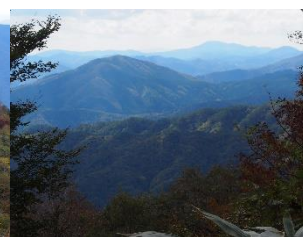
十方山の標識が見える



十方山山頂(昼食)



山頂から(紅葉)



山頂から(北側)



山頂から(南側)